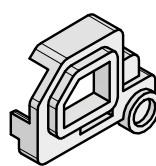
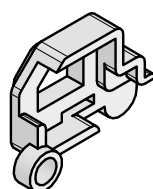


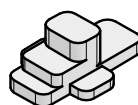
①



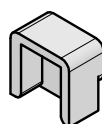
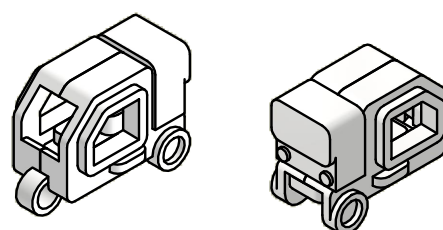
②



③



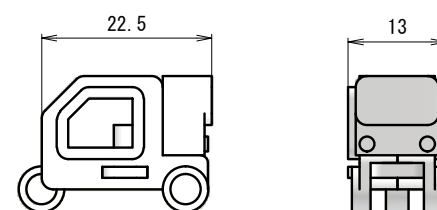
④


$$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4}$$


前方

後方

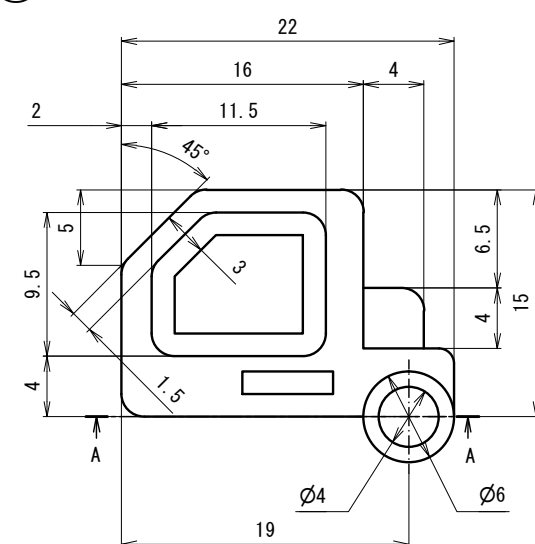
組み立て寸法



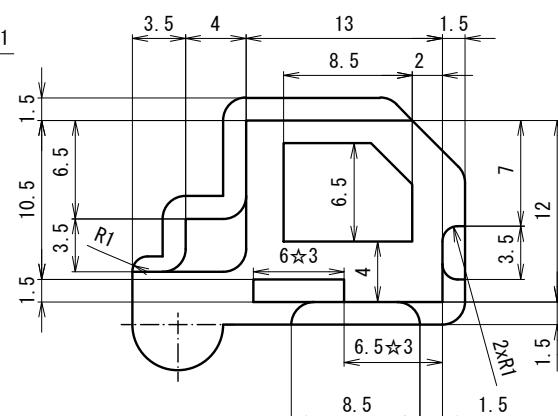
競技課題図

- ・ 製品の表面にカッターマークや擦り傷がないこと。
- ・ 製品の寸法公差は特に指示がない場合 $\pm 0.03\text{mm}$ とする。
- ・ 製品部の指示の無い角部の丸みは $R1.5$ とする。
- ・ **【W】** の変更範囲は 3.5～4.5 とする。(0.1単位)
- ・ **【X】** の変更範囲は 4.5～5.5 とする。(0.1単位)
- ・ **【Y】** の変更範囲は 5.5～6.5 とする。(0.1単位)
- ・ **【Z】** の変更範囲は 6.0～7.0 とする。(0.1単位)

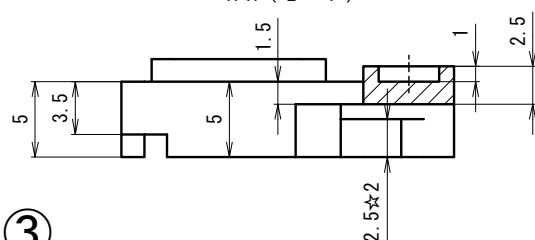
①



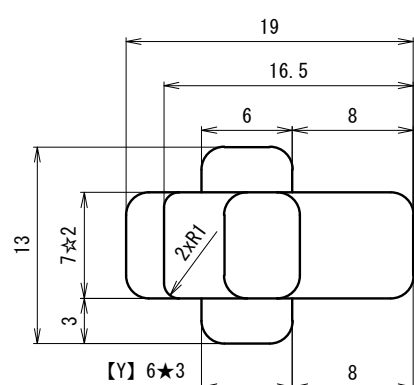
【W】 4★1



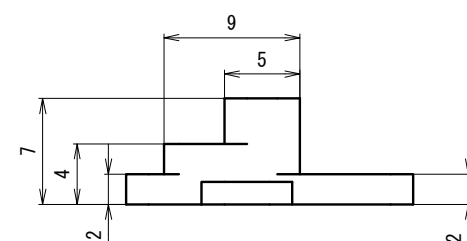
A-A (2 : 1)



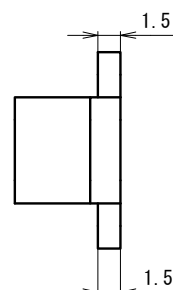
③



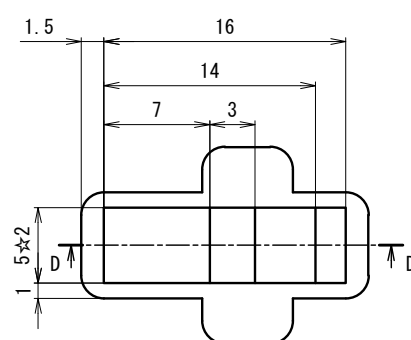
【Y】 6★3



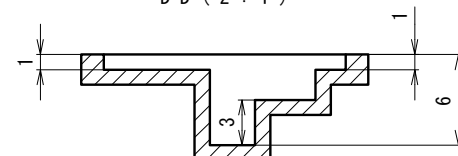
1.5



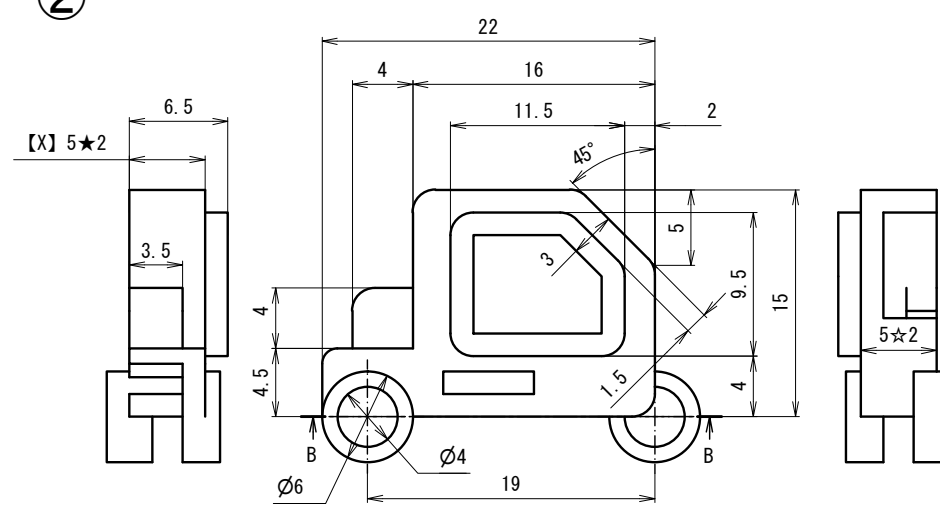
1.5



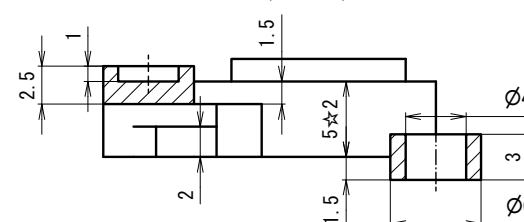
D-D (2 : 1)



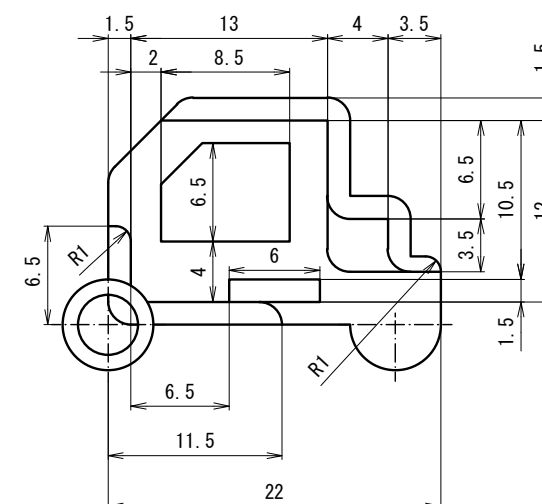
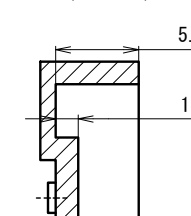
②



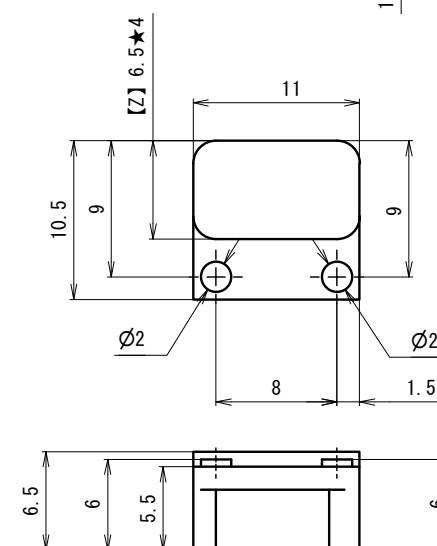
B-B (2 : 1)



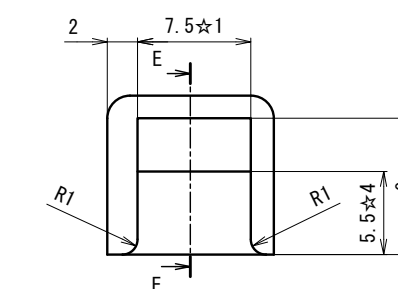
E-E (2 : 1)



④



E-E (2 : 1)

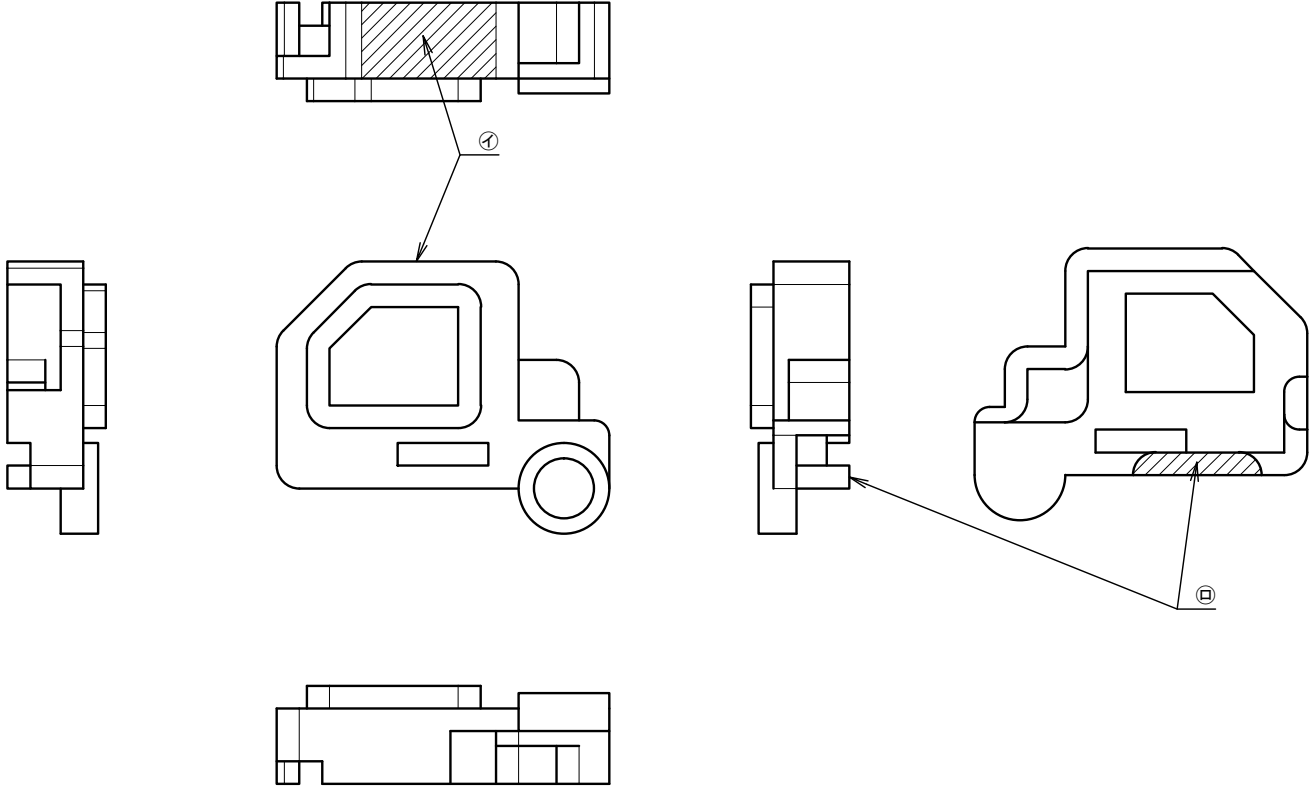


課題の名称	第63回技能五輪全国大会 プラスチック金型職種 競技課題			
製品の名称	パーソナルモビリティ I			
材質	ポリスチレン	収縮率	0.5%	2:1 A3

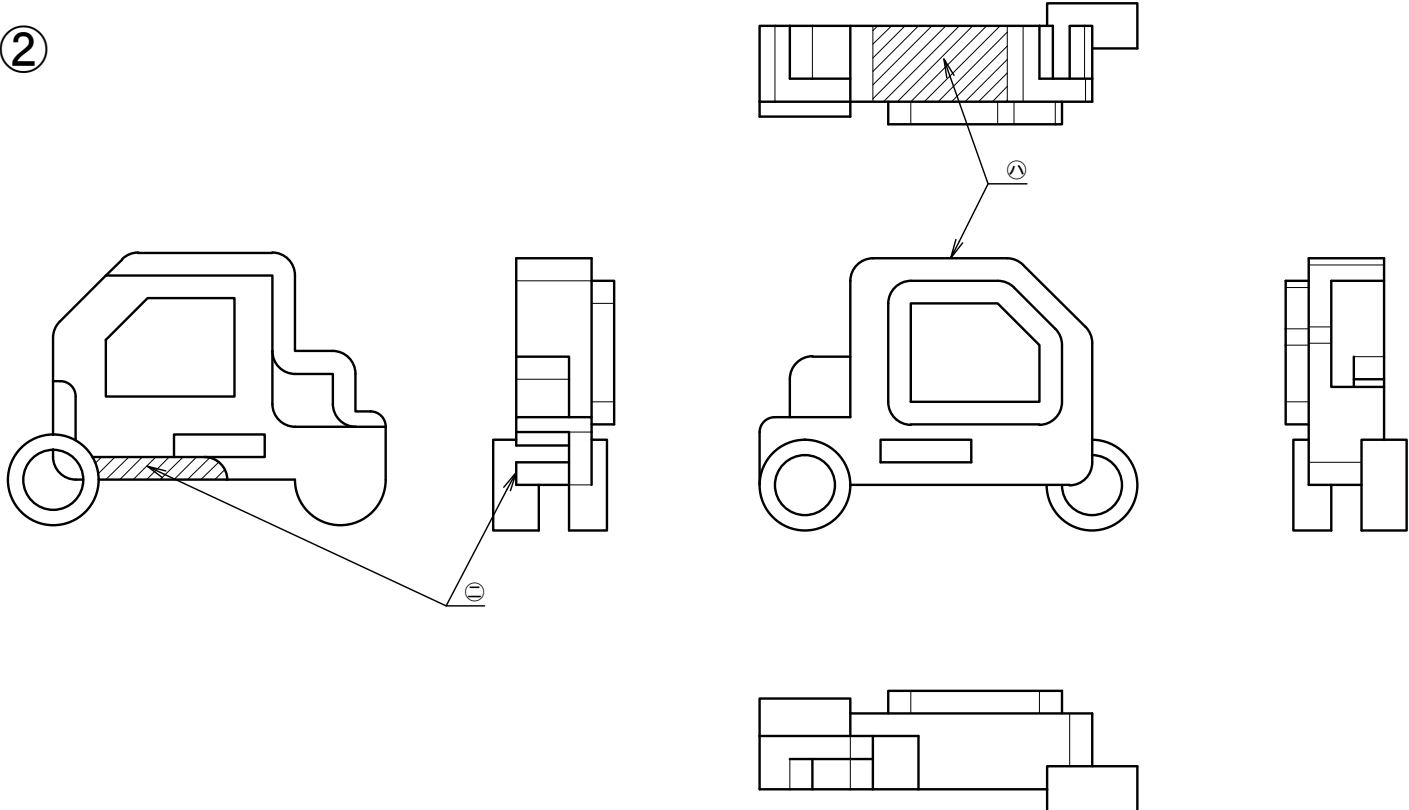
①

部品の仕様

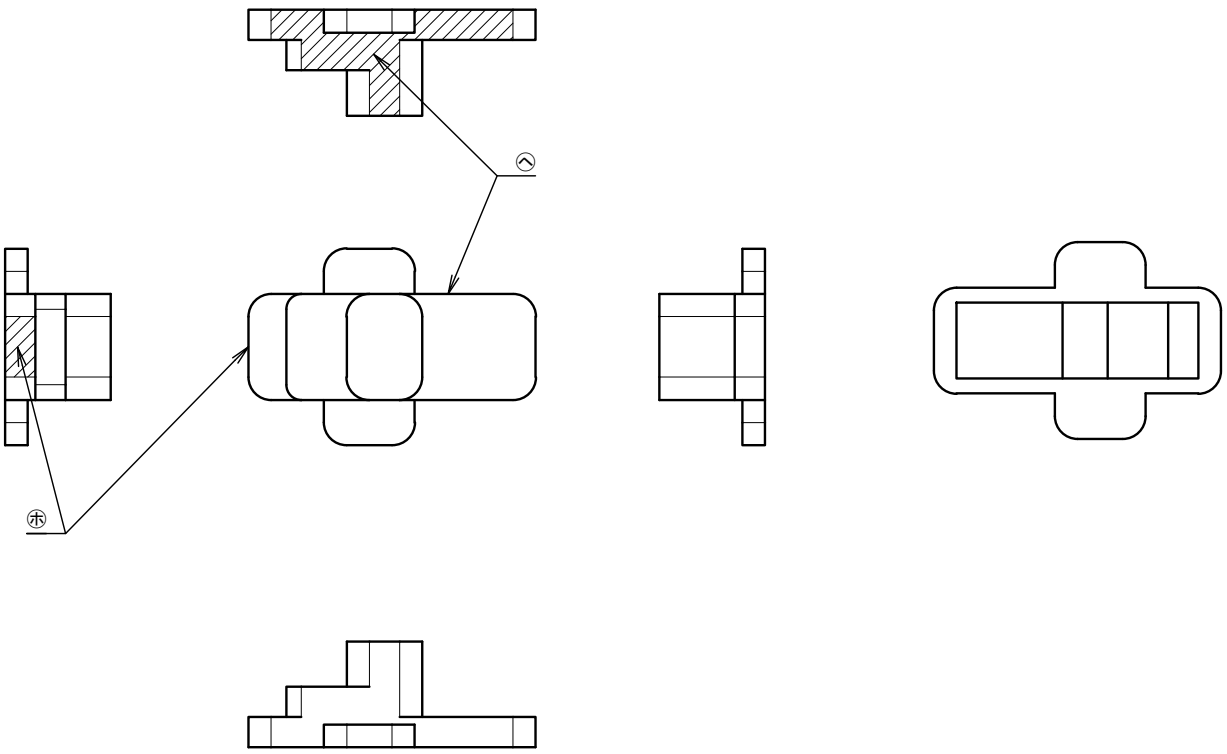
- ・ゲートは、部品①～④の㉠～㉡に示す面以外に設置してはならない。
- ・ゲートとは、製品の、部品図にある形状以外の形状すべてを指し、サイドゲート、タッチゲート、オーバーラップゲート、オーバーフロータブなどを含む。



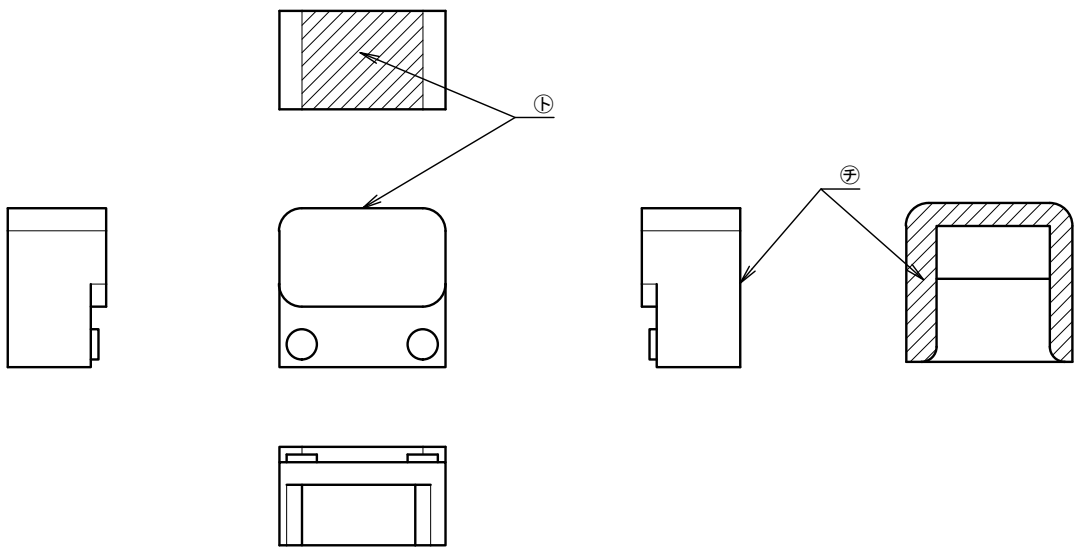
②



③



④



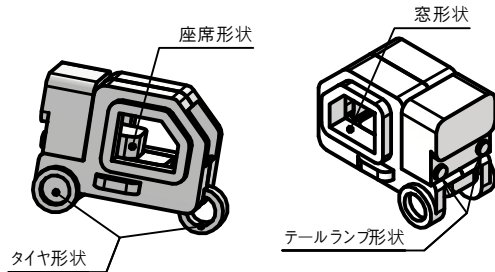
金型の名称	第63回技能五輪全国大会 プラスチック金型職種 競技課題			
製品の名称	パーソナルモビリティ I			
材質	ポリスチレン	収縮率	0.5%	2:1
				A3

課題の特徴(形状や組立機構の魅力、加工難易度)

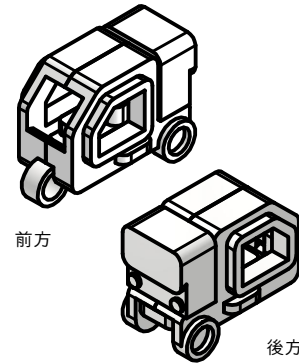
【形状や組立機構の魅力など】

●デザイン

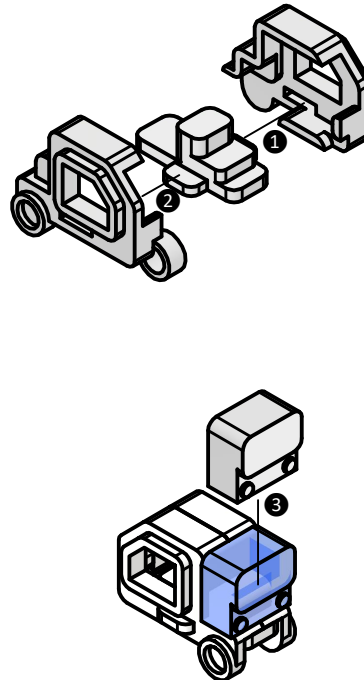
- ・トライク型のパーソナルモビリティをイメージして作成しました。
- ・タイヤやテールランプ形状を設け、モビリティらしさを表現しました。
- ・さらに一人乗り用の座席形状や、大きな窓形状をデザインすることで、パーソナルモビリティであると分かりやすい課題になっていると思います。



【提出組立状態】



【組立手順】



●測定について

- ・底R形状を無くすことで測定をやすくしました。

●組立寸法について

- ・2つのロック機構によって全パーツが固定されるので、全選手共通の状態で測定が行えます。

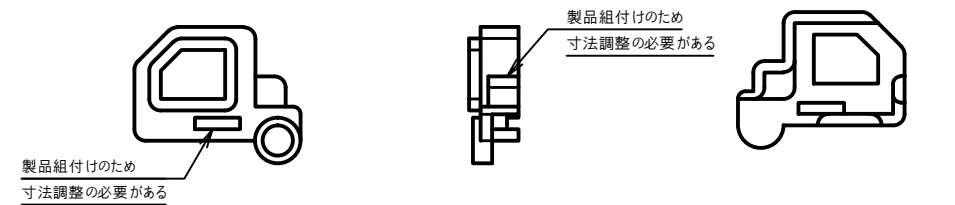
●組立について

- ・組み立てを行った際にパーツ同士で干渉する箇所を増やし、形状加工ミスによって点数差が大きく出やすいように設定しました。
- ・可動はしません。

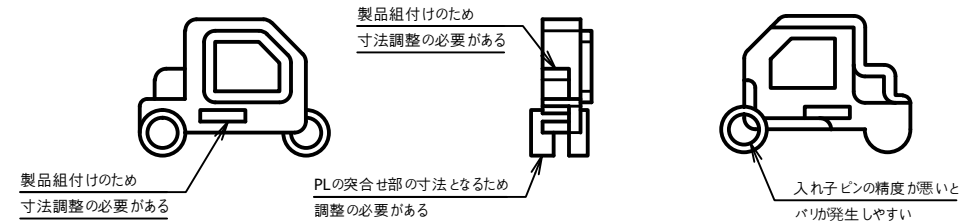
【加工難易度】

- 課題 ボリュームとして
第62回大会課題 (産業用 ロボットH)と面の数を同等程度に設定したため加工 ボリュームの差はないと考えています。
- 課題のレベル
直近の過去課題で採用の少なかった円筒形状を追加することで磨きの更なるレベルアップを測ることができると考えます。
金型勘合部が多いため寸法精度に関する技能の差が出やすくなるよう設計しました。

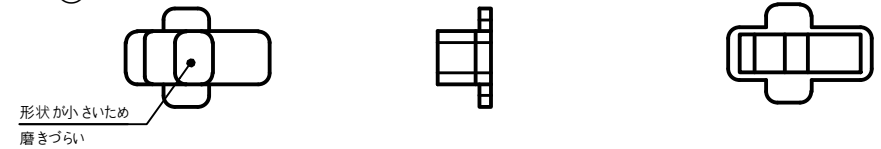
部品①



部品②



部品③



部品④

